

主要施策名:(5)国際交流の推進

事務事業本数:1

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(5)国際交流の推進	(1)国際交流活動の推進	251-1	国際交流事業	企画経営課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 友好・姉妹都市公式訪問・受入事業	協会への補助金交付及び運営支援を行う。	自主活動事業数	回	13	13	11	13
② 国際交流協会支援事業	友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受入を行う。	公式訪問回数	回	1	0	0	1
③ 国際交流奨励費補助事業	補助金を交付することにより国際交流を促進する。	補助金交付件数	件	25	2	0	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(全市民)	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	7,321	2,965	2,378	4,793
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	244.93% (↑)	123.75% (↑)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 各種国際交流事業参加者数	国際交流協会事業に参加した人数	人	1300 958	1300 1184	1300 620	450
2 奨励費補助金を出した割合	支出/予算	%	100 75	100 4	100 0	100

\* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルスの影響により、各種交流事業の参加者減がみられた。  
奨励費補助金については、制度についての認知向上が進んでいないことにより、目標が未達成となっていると考えられる。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		・成果指標を設定している	有効性評価
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		・法定事務であり成果は求めにくい	
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	コロナ禍ではあったが、奨励費補助金の利用促進に向け、ホームページや広報紙で周知した。また、玉名国際交流協会に対しては、引き続き会員増加に向けた取組強化を依頼した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
総合判定	B		
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	瓦房店市に対しては、公式訪問団の来玉についての連絡を待っている状態で、また、クラリダ市の受入については、コロナにより1年後に延期して、令和3年度の訪問に向けた準備を行う。今後も引き続き、新型コロナウイルスの影響を勘案しながら事業を進める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	クラリダ市との直接交流を実施し、また他国・地域との新たな交流を進めていき、市民に多文化共生の機運が高まるような事業を実施していくことが大事である。	評価責任者 石貫誠哉
----------------------	---	---------------